

令和6年6月 第46号

発行者 土浦市並木1-7-14

茨城県弓道連盟

理事長 後藤 裕一

http://ibakyuren.com

令和6年度に向けて 納税問題及び講習会の重要性について



茨城県弓道連盟 会長 中嶋 鉄郎

会員の皆様におかれましては、県連の行事・活動に対しまして、ご理解・ご協力・ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。

令和5年度計画しておりました県大会、審査会、講習会をすべて実施することができましたことは、皆様方のご協力をいただいたお陰と感謝申し上げます。新型コロナウイルスが5類に移行し、社会全体はコロナ前の状態に戻りつつありますが、引き続き感染症防止策をとりながら行事を進めて参りたいと考えております。

さて、1月28日臨時理事会開催、後日書面にて代議員会において、役員改選がありまして令和6年度の新役員がスタートしました。今回の改選は、永きに渡って重責を務められた高松清(前)理事長と須能孝則(前)副理事長がともに辞意を表明されましたので、令和6年度がスムーズにスタートするために新役員との引き継ぎをする必要がありました。例年5月の理事会を待つては遅すぎますので、1月臨時理事会、その後書面にて代議員会をもって役員改選をした次第です。こ

こで、改めてまして理事及び代議員の皆様にはご理解をいただきましたことと御礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、高松前理事長と、須能前副理事長には県連のために永年にわたる多大なご尽力いただいたことに対し、改めて御礼申し上げます。誠にありがとうございます。今後のご活躍をご期待申し上げます。更には、県連のために変わらぬご協力をお願いしたいと考えております。そして、新役員を代表しまして、これからの2年間茨城県弓道連盟運営に精一杯職務を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

令和5年度の課題として、納税の問題についてご報告します。納税に関わる県連事業としては、県大会、審査会、講習会などがあります。この中で審査会の受審料及び登録料、講習会受講料などは事業収入になりますので、消費税対象になります。更に、県大会、審査会、講習会などにおける役員手当(交通費を含む)は源泉徴収金が納税対象に

なります。

昨年度、全日本弓道連盟の指導のもと、水戸税務署と相談して参りました。その結果、過去5年分の消費税及び源泉徴収金が課税対象になりました。今後、これらの納税は県連を運営していくにあたり、かなりの負担となると考えていかなければなりません。

この納税に関して、県連として次のような対応策をとって参ります。(ア) 茨城県弓道連盟の所在地を固定します。

今までは会長の住所を茨城県弓道連盟の所在地としておりました。そうしますと、会長が変わるたびに納税する税務署を変更しなければならぬことが起こり得ます。このようなことを防ぐために、茨城県弓道連盟の所在地を固定して、納税を水戸税務署にすることとしました。武道館に近い学生アパートの一室を契約して「茨城県弓道連盟所在地」としました。直接納税とは無関係ですが、これによって今まで理事長や各部長が自宅に保存していた県連関係の資料を保管することもできることになりました。

(イ) 会計及び納税手続きの処理を担当する経理部を新設しました。経理部の業務は、例えば、県大会は競技部が運営していますが、競技部役員(招集、進行、看的、記録などの係)が大会運営をしています。会員の皆様にも地区ごとにお手伝いをお願いしています。このときの日

当、交通費(係専任のみ支給)が納税の対象になります。これを競技部会計がまとめて経理部に報告します。経理部は納税額をまとめ、それを点検して毎月期限までに納税するという作業を、年間を通して遂行します。競技部、審査部、指導部、強化部等のお金に関するすべてを取りまとめる部門になります。

(ウ) 県連全体として経費削減に取り組んで参ります。県連の運営は、各会員の会費と審査会の収益から事業運営をしております。国民の義務として納税することは当然であります。年間の納税額に当たる費用を県連全体で経費削減に取り組まなければ、茨城県弓道連盟を継続維持することが困難な状態に陥ってしまいます。したがって、「1円たりとも無駄にはしない。」という覚悟で経費削減に取り組んで参りたいと考えておりますので、会員の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

令和5年度を振り返りますと、9月に初めて臨時支部長会議を開催しまして、各支部の現状を知るとともに、県連への貴重なご要望を伺うことができました。その中で要望がありました地区別講習会の実施を令和6年度に計画することができました。日頃から会長として、会員に直接還元する重要な事業として「講習会」を位置づけております。私たちは弓道を正しく習得することを目指して日々修煉しています。一人ひとり取

り、

り組み方は異なるでしょうが、射法八節に基づいてまず技術をどのように習得するかを求めていかなくはなりません。例えば、審査会で東中しているのに合格できない、とします。それは射法八節にしたがった正しい技術が身につけていない射になっているからではないでしょうか。それを解決するために、それを解決してください。先生に指導していただくしか方法はありませぬ。特に弓道は対戦相手が存在しませんから、正しさを求めることこそ自己の対戦相手なのです。私は正しい技術習得が直接できる機会が講習会であると考えています。

講習会の重要性を再認識した経験をお話しします。

令和5年度末締めくくりとして特別講習会を実施しました。例年は県外の範士の先生を講師にお招きして「外部講師招聘講習会」として実施していましたが、茨城県には優れた指導者である柴田猛先生、久保田清先生、橋本真也先生という範士の先生がいっぱい、県外から講師を招聘する意味があるのかという疑問がありましたので、3名の先生方に率直に依頼しましたところ、快諾してくださいました。

結果、受講生の初日の一手指射と2日目の仕上げの一手指射の成長ぶりには目を見張るものがありました。

先生方の指導力が遺憾なく発揮された講習会であったと感じた次第です。私たちは3名の優れた範士の先生のもとで弓を引くことができる幸せを噛みしめたものです。

ただその場に止まるのではなく、自らの力量を向上させること、更なる上を目指す意欲を喚起し、継続していききたいものです。そういう機会として講習会を捉えていただきたいと考えております。

前述のように今年度は範士の先生方に講師をお願いして地区別講習会を計画しました。各地区道場開催ですから人数制限も起こり得ると思います。基本的には、初級者、中級者の受講生を対象とした講習会としますので、多くの会員が受講されるよう期待しております。

結びに、社会情勢の様々な変化に応じた県連の事業運営に取り組みたいと考えておりますので、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。



理事長
後藤 裕一

ご挨拶

この度の役員改選により、理事長を拝命し、重責に身の引き締まる思いですが、理事長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。まず初めに、前理事長の高松清先生は温厚誠実なお人柄で、事務処理能力も高く、会員の皆様方からの信頼も厚い方でした。高松先生が、県連の発展に多大な貢献をなされたことに尊敬と敬意を表し心から感謝申し上げます。

私は浅学非才であり、理事長の重責を果たすことができるか不安ですが、与えられた仕事を一生懸命に執行して、少しでも県連のためになればと思っております。

最初に先日開催されました理事会及び代議員会で、議案等につきまして全ての議決をいただきまして誠にありがとうございます。会員の皆様のご理解に感謝申し上げます。

さて、全日本弓道連盟より、「全日本弓道連盟中期計画(2023-2029)〔令和6年3月27日策定〕」が示されました。これは、社会の変化やスポーツ界の動向を踏まえ、弓道のさらなる普及・啓発を目指すべく提示されたもので、下記の3つの目的が示されました。

1. 弓道の継承
2. 普及振興
3. 公益性の追求

弓道を通じたSDGsの実現、社会貢献の推進を図る。

これらの目的を具現化するため中期計画で目指すことも設定されました。

更に7つの重点領域として、①組織運営、②財政、③審査、④競技、⑤指導・講習・研修、⑥広報・普及、⑦国際 が示されました。(詳細は<https://www.kyudo.jp/aboutus/plan.html>、月間弓道2024.11・2月号参照)

これらの中から、茨城県弓道連盟も同じ課題を抱えているように感じました。

今後更に、中嶋会長、大峰・柴原・米山副会長を中心に、茨城県弓道連盟の施策が、総務企画委員会・各専門部で検討され示されると思います。それらは、県連の未来への提案があり、会員の皆様の健康で有意義な弓道ライフの維持継続のためであると考えています。県連事務局、理事長としても、中嶋会長を中心とした県連の方針に従い、会員の皆様のご意見をいただき、情報の共有を図りながら展開していきたいと考えております。

私個人としても、今まで弓道を通して色々な人と出逢い、様々な事を学ばせて頂きました。理事長としては、はなはだ微力ではございますが県連発展のため専心努力いたす所存でございますので、何卒一層のご指導・高配を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。末筆ではございますが、皆さまの益々のご発展、ご活躍をご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

振り返りと今後の活動に向けて



総務企画委員長 森 昭夫

二年前に総務企画委員会（以下当会と略す）委員長に選任されました。本年度は明間勲、清水匡、川瀬政人各委員に新たに白石直之、福地平委員が加わり計六名でその任にあたることになりました。

◆ 現在の現状からは、現行の方式を続行する。
◆ 現在、体調管理チェックシートを実施しているが現状に鑑み（5類感染症）止めるのは問題ない。

◆ 当会の役割は、茨城県弓道連盟当会規約第2条に「委員会は、弓道指導方針の策定、審査会の合理的運行の検討、国体選手強化計画の策定、連盟活性化の施策など、会長が会務に要する重要案件を付託し、長・中期的にまとめて会長に報告するものとする」とあり、会長の諮問機関として機能してゆかなければなりません。

◆ 小職が担当してからの検討・答申について大雑把ですが振り返りますと、

◆ 【二〇二二年度の答申概要】
1. コロナ感染収束後の県大会、審査会の在り方について

◆ 現在、県大会は部門ごとにより付、競技、表彰の形式で実施されていますが、コロナ以前のように開会式から閉会式までの形式に戻すべきか、ご検討ください。未だコロナの状態が収束して

のようにかかわっていかねばよいのか、具体的な方策をご検討ください。

◆ (2) 弓道界も高齢化は避けられず、若手育成に取り組む必要があります。(1)と同様に県連の取り組みべき方策をご検討ください。

◆ (1)(2)共通
◆ 中学生のレベルを上げるには部活の先生方の講習会が必要である。学校差を無視する必要はある。よって、教職員講習会を実施し講習会後に審査会を実施する。

◆ 本県での講習会を増やすことを要望する。
◆ 講師には錬士の活用を考える。

◆ 主任講師以外の講師は必ずスキルアップのため、錬士、教士を三・四名つけ教え方を学ばせよう。

◆ これらから学校指導者講習会を開催し、その後先生方に審査を受審していただくことになりました。

◆ 【二〇二三年度の答申概要】
◆ 代議員会で某支部長から、支部長会議の必要性について発言がなされました。

◆ 議長である中嶋会長より本件は当会にて検討するようにとのご下命がありました。
◆ 当会で検討の結果、「支部長会」という名目で規約の中の会議に追加することを答申しました。
◆ 考え方として、代議員会のメンバーを全て支部長にする案も検討

されたが現行通りとし、現行の代議員会規定「事業計画、予算、決算および役員改選、その他重要事項を決議する」とある中で、代議員会では事業計画、予算、決算の審議に特化し、その他重要事項を代議員会から切り離して支部長会で話し合うことで、時間短縮が達成されることが推測できます。これは臨時理事会および書面による臨時代議員会にて承認されました。

◆ 以上、原稿をまとめるにあたって振り返ればまだまだ改善する余地があります。人生を豊かに過ごすべく、苦しくとも楽しんで弓道の道を歩むためより良い環境をつくって行くように知恵を絞って取り組んでいく所存です。

◆ 今年から新加入された委員お二人と継続の三名の委員に挨拶の寄稿をいただきましたので掲載いたします。(以下順不同)

◆ 【白石直之委員(水戸桜川支部)】
この度の役員改選において当会委員に就任いたしました。本連盟の運営や行事がコロナ流行時とその後において大きな変化を余儀なくされております。また中高生の部活動の変化や、一般の弓道人口減少等も憂慮すべき課題となっております。会長の諮問を受け森委員長及び委員の先生方と共に県弓道連盟の発展と課題解決に寄与できるよう微力を尽くしたいと思っております。

◆ 【福地平委員(水戸市支部)】
今年度から当会委員を担当しま

す福地です。規約を読み返し、茨城県弓道連盟の活動に係わる重要案件等について会長等からの諮問を受け、当会で協議し答申する責任ある担当と理解しました。微力ではありますが精一杯務めさせていただきます。

◆ また、弓道を通して楽しい社会・楽しい人生を送るのが私の理想です。今後、当会メンバーと協議し、より良い提言をしていきたいと思っておりますので、宜しくお願致します。

◆ 【清水匡委員(土浦亀城支部)】
当会委員として長中期的な観点から全国各県連の動向や実情を参考としながらより良い茨城県弓道連盟の実態に即し、より多くの茨弓連会員や役員の方々の活動がより活発に発展拡大の一助となればと微力ながら活動しております。今後とも色々なご意見をお聞かせいただければと思っております。

◆ 【川瀬政人委員(神栖市支部)】
当会委員に任命され5年目になります。会員の皆様、茨城県弓道連盟発展のために疑問や問題点が有りましたら、支部長経由にて問合せ下さい。微力ながら委員の一人として、問題解決の力になればと考えております。宜しくお願致します。

◆ 【明間勲委員(取手支部)】
まだまだ改善する余地があるようです。他の委員共話し合せて改善策を提案していきます。

◆ 【福地平委員(水戸市支部)】
今年度から当会委員を担当しま

専門部だより

審査部



部長 和栗 淳

今年度、代議委員会におきまして、前任の新井先生の後任として審査部長に推挙いただきました。友部支部の和栗でございます。何分、審査部の経験も浅く、組織運営並びに審査会運営に不安を感じている今日この頃ではありますが、県連役員の方を先方をはじめ、皆様方のご指導、ご協力を賜りまして進めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

前任の新井先生におかれましては、事務局4期8年、審査部長2期4年、合算しまして12年という長きにわたり、審査部を支えていただきましたこと、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。現在の審査部運営の礎を築かれたと言っても過言ではなく、そのご功績に改めて敬意を表するところであります。

さて、令和5年度における審査会の概況について少し触れたいと思います。

中央審査会におきましては、延べ360名の方の申し込みがあり、六段8名、七段1名、八段1名が昇段、錬士7名、教士1名が昇格されました。

他の地連主管を含む連合審査会には、延べ348名の申し込みがあり、14名が五段に昇段されました。

当県連主管の、中学生審査会2回(2,184名)、一般審査会2回(319名)、教職員審査会1回(5名)、合計しまして2,508名の多数の申し込みをいただきました。特に中学生審査会においては、3年間行ってきたビデオ審査から、久しぶりの参集方式による審査となったため、戸惑い等による受審者数の減少を懸念いたしました。各校の顧問の先生方の熱心な指導と生徒さんの向上心により、ビデオ審査会の受審者数と遜色ない参加(ビデオ審査会平均受審者数2,194名)をいただきました。(下図参照)

この様に、各審査会が無事に終了いたしましたのも、県連役員の方をはじめ審査員の先生方、審査部員の皆様、審査会にご協力いただきました関係者の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。なお、今年度の当県連主管の審査会につきましては、

① 中学生審査会
基本的には昨年度と同じ、受審者の時間差入館、審査結果の後日公表など、コロナ禍の教訓を活かした審査会運営を継続します。また、受審者が参加しやすいように、県北・県東(鹿行)・県南(土浦)・県南(取手)・県西の6地区で上半期1回、下半期1回、計12回開催いたします。各学校の顧問の先生、外部指導員の方々にお願いしては、五人立ちでの「審査における行射の要領」と学科レポートのご指導を、引き続きよろしくお願い申し上げます。

② 一般審査会、連合審査会、教職員審査会
審査要領は、中学生審査会と同様になりますが、一般審査会を例年の2回開催から3回開催いたします。県南地区の受審会場が1射場しか確保できないことなどから、土浦と取手にて行う予定です。また、昨年度初開催いたしました、中学高校の弓道部顧問の先生方を対象とした、指導者育成の講習会と教職員審査会を引き続き1回開催いたします。

今年度も、年間を通じて多くの審査会を計画いたしました。会場の確保と運営役員の確保が重要な要素となります。そこで、日立市弓道連盟のご協力のもと、県北地区に「日立池の川さくらアリーナ武道館」を新たに追加し審査会場の拡充を図るほか、運営役員につきましても、県内会場の近隣支

競技部

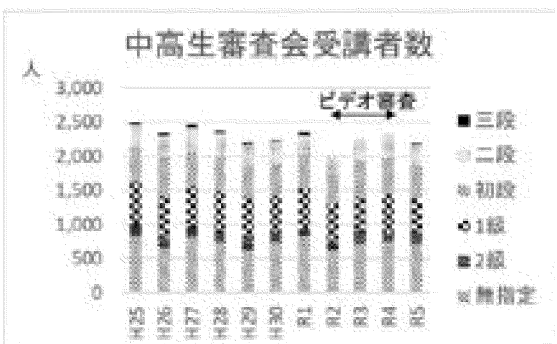
部長 小出 則行



この度の役員改選に伴い、後藤先生の後任として競技部長という大役を仰せつかりました。ご迷惑をお掛けすることも多々あるかと思いますが、会員の皆様のお役に立てるよう一杯務めさせて頂く所存ですので、何卒宜しくお願い申し上げます。

【大会運営について】
昨年5月に新型コロナウイルス感染症が第5類感染症に変更されましたので、今年度からは感染症対策として行っていた施策を一部見直します。主な内容は、入館時間制限の撤廃、各部門終了後の退館要請の取りやめ、矢渡の射場内見学の見学禁止などです。また、三密防止の観点で行っていた選手控室の柔道場と剣道場の2面確保ですが、どちらか片方(基本的に剣道場のみ)と致します。逆に分散開催は好評であることから引き続き実施致します。

【競技部役員について】
競技部の方針としては県連全体の競技運営能力の向上を目指し、茨城国体終了後は競技部役員の人数を徐々に減らして国体準備期間前の地区ごとの運営の形に戻すよ



部に加入する会員から新たに5名の方々に加入いただき、運営の効率化を図りました。

従来の運営方法の良さを継承しつつ、更なる企画運営の充実化と審査会の効率化を志向し、受審者が参加しやすい審査会を目指し、ひいては弓道人口の拡充に努めてまいります。我々審査部役員一同も「明るく・楽しく・元氣よく」をモットーに尽力していく所存です。会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

う進めておりましたが、地区理事の皆様から毎回運営委員の選出に大変な労力を割いているため競技部だけで大会運営ができないか、との改善要望を頂きました。そこで今年度より競技部役員の人数を増やすよう方針を改めることになりました。とは言え、競技部役員も茨弓連の各地区、各支部に所属している会員であることには変わり有りません。より多くの方に競技部に参画頂くことで、全体の競技運営能力の向上を図りたいと存じます。今年度に入ってから少しずつ人数を増やしていますが、現時点でも人員が足りておらず、未だ大会ごとに地区運営委員のご助力を頂いているところです。大変申し訳ありませんが、引き続きのご協力をお願いします。遠の大

委員については競技部役員だけでは不足します。関東ブロック大会で役員を引き受けて下さった方を中心に個別にお声掛けさせて頂きますので、大変申し訳ありませんがご協力をお願い致します。

【お願い事項1】

矢取りに行った際の看的所内では静粛をお願い致します。看的は目視と聴覚での確認を行っており、大変集中力を必要とする業務です。看的所内での選手同士の会話や係員への話しかけによって看的業務に支障が出ている場合があります。矢取りを行う直前まで看的の外で待機頂くか、看的所内では会話を控えて頂くよう、お願い致します。

【お願い事項2】

射場に入場する際、各射場の大前は礼を行い、2番以降は揖を行うのが正しい入場ですが、第1射場の大前だけが礼をするケースが多いように思います。今一度ご確認願います。

指導部

部長 塚田 哲也

平素より指導部の事業にご協力いただき誠にありがとうございます。今年度、



指導部長を拝命いたしました塚田哲也です。昨年までと同様、指導部へのご協力をよろしくお願いいたします。

指導部の役割は、「全日本弓道連盟の定める射法・射技の指導および講習会に関すること」(茨城県弓道連盟専門部規約第4条)となっております。今年度も講習会の開催により、役割を全うしたいと考えています。会員の皆様の講習会への積極的なご参加と講師を担当していただく先生方のご協力をお願いいたします。

重点項目は、「指導者層の心得」として、(一)自ら至誠と礼節を体現し、真善美を目指すこと。(二)指導者の影響力を自覚し、自身の言動、態度について常に注意を払うこと。(三)指導にあたっては、自らが実践躬行すること。(四)弓道教本および副読本に基づき全国的に統一された指導をすること、と考えています。指導者層の皆様は、一層、指導者としての自覚をもって各地域で後進の方を導いていただけますようお願いいたします。

また、「講習会の指導項目」は、(一)射法・射技の基本五項目(弓の抵抗力、基本体型、呼吸、目づかい、心・気の働き)の学びと理解、正しい射法八節の指導。(二)基本体とその動作の注意点(八項目)の指導。(三)射品、射格の向上。特に高段者は

常に射品、射格を高める努力を怠らないこと(四)コンプライアンス意識の定着・向上の指導、といったします。特に、コンプライアンス意識の定着・向上は、全日本弓道連盟中期計画(2023-2026)の目的の一つである「公益性の追求」に、コンプライアンスの遵守がうたわれており、弓道を学ぶすべての人にかかわることです。以前から周知徹底されている適正な矢羽の使用やハラスメントの排除など、弓道界が時代にあった発展をしていくために全員で学び、実践していかなければなりません。

さて、昨年の指導部の活動を振り返りますと、茨城県弓道連盟が主催した講習会は15回、のべ523名に参加いただきました。今年度はさらに多くの方に参加していただけるよう、講習会を18回予定しています。特に今年度は初めての試みとして、各地区ごとに参加者を募る地区別講習会を7回予定しています。昨年までは三段以上の方の講習会を実施し、初心者から二段までの方は、各支部での指導が中心でしたが、今年度は、その地区内にある近隣の弓道場を会場とし、どなたでも参加できる講習会を企画いたしました。7回とも範士の先生に主任講師をお願いし、初級者・中級者の方もレベルの高い講習で学べると考えています。普段の練習ではなかなかできない、五人立ち審査の間合いで

の体配の指導など、貴重な学びになりますので、指導されたことを日々の練習に活かしていただければと思います。(会場は、水戸地区・存心館弓道場、日立地区・東海村弓道場、土浦・石岡地区・土浦市武道館弓道場、県西地区・下館武道館弓道場、県南地区・取手市グリーンスポーツセンター、鹿行地区・神栖市武道館弓道場)今年度の試行で、いろいろなご意見をいただき、さらに充実していければ幸いです。今後も参加しやすい講習会を企画し、多くの方に参加していただけるようにしていきます。

講習会では、先に述べた「講習会の指導項目」の4点の指導を講師の先生にお願いしています。特に、(四)のコンプライアンス意識の定着・向上は、各講習会での必須指導項目にしていますが、講習会に参加する機会がない方も、講習会に参加した方からこれらの情報を入手して、強く意識していただくようお願いいたします。茨城県弓道連盟では、コンプライアンス、ハラスメントの問題がないようにはしていきたいと考えています。

実務については記します。今年度から講習会の申し込みは、「講習会申込みフォーム」を各支部の支部長、連絡員の方々にメールいたしますので、申し込みに関する注意事項をお読みの上、所定の手続

【関東選抜選手権について】

昨年度の全日本選抜選手権関東ブロック大会に引き続き、本年度は関東選抜選手権大会が茨城で開催されます。運営委員の数は関東ブロック大会に比べて減らす方針ですが、それでも一部の係員や審判

きに則り、期限内にお申し込みください。お送りする「講習会申込みフォーム」メールの件名は、『茨弓連・指導部』○○○講習会・申込開始のお知らせです。各支部の担当者の方々にはお手数をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

講習会では、アンケート用紙をお配りし、受講した講習会についてのご意見をいただくことで、多くのご意見をいただくことにより充実した講習会にしていきたいのでアンケートの記入・回収にご協力ください。

弓道は常に学び続けることが大事だと思います。他者からの指摘は貴重な材料です。素直に受け取り、工夫稽古に活かすことで一歩ずつ向上することができると思います。講習会は指摘してもらえぬ絶好の機会です。多くの方の参加をお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健勝を祈念いたします。茨城県弓道連盟指導部
メールアドレス..

ibakkyudo.shitoubu@gmail.com



施設部



部長 荻谷 純生
日頃より施設部の運営にあたり、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます

昨年度で、長らく施設部長を務めていた園部先生が退任されました。競技運営の裏方に徹し、気配りあるふるまいは人望を集めました。後任の指導のため二年間在籍していただきありがとうございます。今年度より新たに三名が加入し、施設部作業を覚えていくところです。

施設部は大会の事前準備が主な仕事になります。特に競技時に使用するの準備にはこだわりを持っていきます。張りのある的、狙いを定めたときの紙等がはみ出しにくい、的心が中央にあるなど注意して作業しています。昨年までは倉庫、看的場の整理を行い、競技中における係員の寒さ対策を行ってきました。武道館の射場内は「火気厳禁」が原則であるので役員の方々、競技運営者の皆様は毛布に絡まり寒さ対策をしていましたが、武道館と話し合い一部ファンヒーターを持ち込むことを認められました。今

年度は競技控室に設置してある大型のストーブをもう一台増設するよう予算交渉をしています。選手の皆様も第2控で緊張の中寒さを感じていたと思いますが、県の予算が通れば十分緩和できると思っています。

また観客の安全性については直近の課題です。万一暴発で観客に矢が飛ぶような事故が起こったら一大事です。すでに第一射場の的中掲示板には二か所の矢が刺さった痕跡があります。武道館も安全性には十分理解を下さっており、観客席の3柱の間に透明アクリル板を設置するよう見積もりを取っています。高額になるので武道館に要望、相談を続けてまいります。

最後に看的場の清掃は高体連では試合終了時に掃き掃除をしています。通常武道館で練習している方々も最後に安土の整備と看的場の清掃をしていただけると、次の人も気持ちよく使えると思います。皆様の更なるご指導とご協力をお願いいたします。



強化部



部長 尾吹 将大
この度の役員改選により高木前部長から強化部長を引き継ぐことになりました

未熟ではありますが、自分の持てる力を尽くして茨城県の選手強化のために少しでもお役に立つことができればと思ってお引き受けました。強化部員も新メンバーを迎え全員が新しいポジションでの活動となりますが、部内のチームワークを大切にして諸先輩の作り上げてきた強化方針の良い面は残しつつ、新しいことを取り入れていこうと考えています。皆さまのご指導とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

強化部の主な事業は、国スポ（※「国体」の愛称で根付いた「国民体育大会」が2024年から「国民スポーツ大会（略称：国スポ）」へと名称が変わりました。）選手強化及び選手権大会派遣選手（近的・遠的選手権大会、関東地域選抜大会、都道府県対抗大会（オンライン））があります。成年の国スポ選手強化は年間を通して行っており、国スポ終了後から次年度の選考会を重ねて強化を行い、新戦力の発掘と育成及び現在活躍

中の選手のさらなるレベルアップを目指しています。国スポの選手選考にあたっては選考会の的的中みではなく射技・射法等総合的に判断して会長と他の先生方と協議して決定します。もう一つの事業である選手権大会派遣の強化については特に日程は定めておりませんので国スポ強化練習に参加頂き、お互い緊張感を持ちながら強化練習を行っていきたくと考えております。特に全日本遠的選手権大会に出場される方におかれましては遠的の練習場所が限られておりますので是非強化練習に参加していただき入賞を目指していただければと思います。

なお、毎年発表される優秀地連得点において、令和五年度の茨城県は34位（15点）という結果でした。少しでも得点・順位を上げ貢献できるように県内全体のレベルアップを図れるような環境づくりを県連や各専門部と協力しながら行っていきたいと思っております。令和五年度の国体の成績について報告致します。

関東ブロック予選は遠的8射、近的8射を引き、総合点で競います。成年は八都県のうち上位の四都県、少年は八都県のうち上位の三都県が予選通過となります。

令和5年7月23日 関東ブロック大会（埼玉県立武道館）
成年女子 近的16中／一位、遠

的94点/四位 総合二位 国体関東ブロック通過
 成年男子 近的18中/六位、遠的131点/四位 総合五位 国体関東ブロック通過
 少年女子 近的14中/四位、遠的75点/五位 総合五位 国体関東ブロック通過

少年男子 近的17中/七位、遠的90点/七位 総合七位 国体関東ブロック通過
 国体本戦もブロック大会同様の射数で競技を行います。全国の各ブロック予選を突破した出場都道府県の上位8チームが予選通過で決勝トーナメントへ進出となります。

令和5年10月5日〜8日 鹿児島特別国体(出水市総合運動公園) 成年女子 近的予選16中/九位 予選不通過

遠的予選108点/十四位 予選不通過
 関東ブロック予選においては成年女子のみ通過することができ、本戦へ出場を決めました。成年女子はベテラン2名と初選出された1名で構成されたチームでしたが、まとまりもよく予選も十分に突破できる実力はありました。しかしながら国体本戦ではもう一步のところで遠的/近的共に予選落ちとなり、チーム競技における一本の重み、試合で勝つことの難しさを改めて感じさせられた国体となりました。

強化部の課題として、関東ブ

ロック大会と国スポ本戦を勝ち抜き、技術的なことはもちろん、体力・精神力も強くなければならないため、普段の大会とは違い独特の雰囲気にもならないように「本番に近い環境雰囲気を提供すること」、「選手と監督のコミュニケーションがとりやすい環境をつくること」、「チーム3人でのひとつの目標に向かうためにサポートすること」、「緊張の中でも自分の射を最大限に発揮できるように選手を導くこと」が必要と考えています。また、新しい人材の発掘・育成にも取り組むことと、現在の強化選手の射技・射法の向上をサポートしていきます。

今年度も関東ブロック予選通過、国スポ本戦出場に向けて強化部・選手一丸となって強化練習に取り組んでいきたいと思えます。最後に、ここ数年は国スポ選手になりたいと強化練習に参加する方が少なくなってきたいます。会員の皆様の積極的なご協力をお願いします。

経 理 部



部長 新井 重夫

今年度より、新たな専門部として経理部が発足し、部長の任にご推挙いただき

きました。

これまで審査部事務局として4期8年、審査部長として2期4年の間、皆様のご指導ご協力のおかげでその務めを果たすことができましたこと、厚く御礼申し上げます。

新設の経理部は、①県連会計の総括、②各専門部への予算配賦、③納税、④県連としての経費支出等の役割を担う専門部です。

昨年度は、全日本弓道連盟から納税に関する指示があり、消費税及び源泉所得税の納税対応を行うこととなりました。

茨城県弓道連盟におきましては、高松前理事長、須能前副理事長が水戸税務署に赴き、消費税、源泉所得税の納入についての相談を行っていただきました。改めて高松前理事長、須能前副理事長のご尽力に感謝申し上げます。

その結果、昨年度は過年度延滞税を含め総額472万円(過年度消費税142万円、過年度源泉徴収税247万円、令和5年度源泉所得税83万円)を納税しました。源泉徴収税の納税は、以下の手順で行っています。まず、各専門部の会計担当が、手当交通費の共通様式を用いて、毎月行われる県連行事で支払われる日当交通費、源泉徴収税等を算出します。経理部では、各専門部からの日当交通費支出の報告を受けて、県連全体の金額を月次で合算し、翌月10日

までに税務署に報告し源泉徴収税を納入します。年末には、1年間に支給した日当交通費を合算し、各個人宛に支払調書または源泉徴収票を交付するとともに、税務署に報告します。

消費税については、課税対象となる収入を正しく計算することが必要です。審査料、登録料(全弓連納入を除く)、大会・講習会の参加費、受取利息等が、課税対象となる収入です。県連会費は、茨弓連を運営するために充てられるため、対価性のある取引ではないとされ、消費税は課税されません。

消費税の納税に際しては、茨弓連では簡易課税制度を選択し、売上げに係る消費税額から売上税額にみなし仕入れ率(50%)を掛け、金額を差し引いて納付税額を計算することとしています。

年度末には、県連全体の決算書を作成します。しかしながら、昨年度までは専門部ごとに決算報告の様式、勘定科目がまちまちであり、県連全体で統一的な会計基準に従った経理処理が行われていませんでした。

経理部発足を契機に、経理処理に関する規定や様式等を整備し、県連全体で統一的な会計基準に従って経理処理する検討が必要なる状況となっています。

一昨年度までは、1名の会計担当が県連全体の現金出納と年度決

算報告を中心とした経理業務を担っていたいておりました。昨年度からは、納税に業務が新たに加わり、1人だけで担うにはその業務負担が重くなっております。そのため、経理関連の業務運営体制を構築することが急務です。今年度からは私を含め5名で経理業務を担うとともに各種の検討を行うこととなりました。

また、昨年度は県連全体の収入よりも支出が多くあり、前年度繰越金で補填している状況でした。今年度の予算策定においても、前年度繰越金が少なく支出超過の状況です。そのため、県連運営準備基金から700万円を取り崩して県連行事の運営資金とすることを理事会、代議員会で承認いただきました。

県連全体の収支バランスを図るためには、各専門部の会計担当のご協力のもと、県連行事予定や予算策定の段階から予算の過不足を把握し、随時、予算執行状況を確認の上、迅速に関係者に収支状況を報告し、対策を講じることが必須となっております。

新たに経理部が発足しましたが、数多くの課題があります。課題の解決に向け検討するとともに、円滑な経理業務運営に努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

算報告を中心とした経理業務を担っていたいておりました。昨年度からは、納税に業務が新たに加わり、1人だけで担うにはその業務負担が重くなっております。そのため、経理関連の業務運営体制を構築することが急務です。今年度からは私を含め5名で経理業務を担うとともに各種の検討を行うこととなりました。

また、昨年度は県連全体の収入よりも支出が多くあり、前年度繰越金で補填している状況でした。今年度の予算策定においても、前年度繰越金が少なく支出超過の状況です。そのため、県連運営準備基金から700万円を取り崩して県連行事の運営資金とすることを理事会、代議員会で承認いただきました。

県連全体の収支バランスを図るためには、各専門部の会計担当のご協力のもと、県連行事予定や予算策定の段階から予算の過不足を把握し、随時、予算執行状況を確

会議報告

県外

関東地連会会長会議
第1回 (R5/4/6) 東京都
第2回 (R5/9/23) 千葉県

県内

理事会 (R5/5/13)
代議員会 (R5/5/28)
臨時理事会 (R6/1/30)
臨時代議員会 (書面開催)

研修事業報告

県外

〔関東北地区〕
指導者講習会
(R5/6/24~25) 6名参加
〔関東北地区〕
指導者育成講習会 中止

中央研修会
(R6/2/17~18)
該当者無し

県内

1、講師審査員研修会
(R5/4/1) 水戸 78
2、第1回三・四段講習会

(R5/4/22) 水戸 44
3、第1回五段講習会
(R5/5/20) 水戸 26

4、関東北地区指導者講習会
(R5/6/24) 水戸 33

(R5/6/25) 水戸 33
5、高体連弓道審判実技講習会
(R5/7/8) 水戸 63

6、支部指導者伝達講習会
(R5/7/15) 水戸 30

7、教士講習会
(R5/8/6) 水戸 20

8、公認地方委員 資格認定講習会
(R5/9/17) 水戸 25

9、第2回五段講習会
(R5/10/1) 水戸 28

10、第2回三・四段講習会
(R5/10/14) 水戸 66

11、学校指導者講習会
(四段以下)

(R5/10/22) 水戸 9
12、錬士講習会
(R5/11/26) 水戸 32

13、第1回中学校講習会
(R5/11/26) 水戸 25

14、第2回中学校講習会
(R6/2/4) 土浦 17

15、学校指導者講習会
(初段以下)

16、特別講習会
(R6/3/30) 水戸 27

(R6/3/31) 水戸 27
延べ参加者数 589名

県外大会 一般

第74回全日本弓道大会

R5/5/2(火)・3(水)

京都市勧業館「みやこめっせ」

第70回全日本勤労者弓道選手権大会

R5/6/16(金)~18(日)

佐賀県多久市体育センター

日立製作所

(木元・笹沼・久保田)

キャノン取手

(大金・川畑・関口)

第64回関東地域弓道選抜選手権大会

R5/9/24(日)

千葉県総合スポーツセンター

弓道場

・有段者の部

宮川 晃弥

荒木 道備

江畑 洋子

長山 琴音 (3位)

中野 公子

・称号者の部

(R6/2/11) 土浦 6

16、特別講習会

(R6/3/30) 水戸 27

(R6/3/31) 水戸 27

延べ参加者数 589名

福地 平

吉村 静華

大峰 芳樹

大岡 健司

高野 敬光

全日本弓道選手権大会関東ブロック予選会

R5/7/30

東日本技術研究所武道館弓道場

・男子の部

山口 純

矢野 大輔 (二次通過・選出)

塚本 重毅

後藤 裕一 (二次通過)

・女子の部

木村亜紀子

吉村 静華 (二次通過)

梶 直子

大森 絵鈴

第74回全日本男子弓道選手権大会

R5/9/30(土)~10/1(日)

男子 矢野 大輔

全日本弓道連盟中央道場

特別 国民体育大会弓道競技会

鹿児島県出水市総特設弓道会場

R5/10/13(金)~16(月)

成年女子

斎藤 詩乃

三浦 彩加

大森 絵鈴

監督 吉村 静華

第74回全日本弓道の遠征選手権大会

R5/11/25(土) 女子

斎藤 詩乃

黒澤 智子

R5/11/26(日) 男子

野口 朋之

安藤 勝利

第35回全国健康福祉祭(ねんりんピックえひめ2023)

R5/10/28(土)~31(火)

愛媛県総合運動公園弓道場

寺本 貞光、長谷川輝子、

寺西 敏夫、荻原 裕一、

大熊 廣明

(交代選手 緑川なおみ

監督 木村 薫)

令和5年度都道府県対抗弓道大会(オンライン)

R6/3/20(水)

大会本部：全日本弓道連盟事務局

東日本技術研究所武道館弓道場

1菊地 俊和 2久保田 亮

3加藤木 保 4菊地 凜

5山口 純

監督 中嶋鉄郎

県外大会 自衛隊

第48回全自衛隊弓道大会

- R5/12/10 (日)
- ・隊友(称号)の部
- 優勝 杉山 義光
- 2位 河合 徹

- ・予選敗退 竜ヶ崎第一
- 女子個人の部
- ・第8位 見澤 麗(水戸二)

特別 国体関東ブロック大会

(埼玉県 7/22・23)

- 少年男子の部
- ・総合7位(不通過)
- 少年女子の部
- ・総合5位(不通過)

県外大会 教職員

第54回全日本教職員弓道選手権大会

(和歌山県 R5/8/9~10)

第68回全国高等学校弓道大会

(北海道 R5/8/3~6)

県外大会 高体連

第67回関東高等学校弓道大会

(埼玉県 R5/6/3・4)

男子団体の部

- ・予選通過 土浦第三
- ・予選敗退 下妻第一、石岡第二、水戸第一
- 男子個人の部
- ・優勝 工藤拓海

男子団体の部

- ・決勝トーナメント1回戦敗退 水戸桜ノ牧
- 女子団体の部
- ・決勝トーナメント1回戦敗退 水戸第二
- 男子個人の部
- ・第4位 工藤 拓海(土浦三)
- ・予選敗退 西野 颯馬

第42回全国高等学校弓道選抜大会

(東京都 12/23~25)

- 男子団体の部
- ・1回戦予選敗退 竹園
- 女子団体の部
- ・第5位(水戸第二)
- 男子個人の部
- ・予選敗退 関口輝(境)、高野 翔英(妻一)

県外大会 中体連

第33回関東中学生弓道大会

(茨城県 8/12)

- 男子団体の部
- ・準優勝 阿見中
- 男子個人の部
- ・第4位 宮岡晟二郎

連盟後援行事

土浦桜祭り大会

(中止)

村松山弓道大会

(中止)

鹿島神宮弓道大会

(4/29)

神栖弓道大会

(5/14)

あやめ祭り弓道大会

(6/18)

第23回東日本高等学校弓道大会

(神奈川県 3/22~24)

- 藤枝 愛夢(鹿島)
- 5人制男子の部
- ・第3位 竹園
- ・予選敗退 取手一、麻生
- 5人制女子の部
- ・予選敗退 境、鹿島、水戸二
- 3人制男子の部
- ・決勝T一回戦敗退 竹園、取手一、麻生

第20回全国中学生弓道大会

(中央 8/19・20)

- 男子団体の部
- ・第5位 阿見中
- 男子個人の部
- ・第4位 武石 龍丸

3人制女子の部

- ・決勝T二回戦敗退 水戸二
- ・決勝T一回戦敗退 鹿島
- ・予選敗退 境、水戸三

女子団体の部

- ・決勝トーナメント1回戦敗退 茨城中・東海中

女子個人の部

- ・決勝敗退 坂入陽和(竜二)
- ・予選敗退 高橋楓香(取二)

女子個人の部

- ・準決勝敗退 三林 夢果(石一)、

女子団体の部

- ・第3位 清真学園
- ・予選通過 水戸第二、石岡第一、清真学園、土浦第二

女子個人の部

- ・決勝敗退 坂入陽和(竜二)
- ・予選敗退 高橋楓香(取二)

女子個人の部

- ・準決勝敗退 三林 夢果(石一)、

女子団体の部

- ・準優勝 東海中

女子個人の部

- ・準優勝 東海中

県南弓道大会

(10/1)

県西弓道大会

(2/4)

観梅弓道大会

(3/24)

茨城県弓道連盟主催(主管)県内大会結果

第72回全日本大会茨城県大会

春季大会

R5/4/8

▼有段男子の部

優勝 木村 薫

準優勝 加藤木 保

第3位 増尾 裕次

第4位 穂坂 陽一

第5位 高野 陽人

▼有段女子の部

優勝 長山 琴音

準優勝 大貫 春恵

第3位 斎藤 詩乃

第4位 福地 京子

第5位 八巻 千夏

▼称号者の部

優勝 山口 純

準優勝 大金 勉

第3位 瀧口 眞央

第4位 杉山 義光

第5位 辻 尚宏
射技優秀

第一射場 佐々木則子

第二射場 園部 晃生

選手権予選大会

R5/4/23

▼有段者男子の部

(決勝大会進出者)

菊地 凜・瀬谷 浩平・

木元 雄太・矢崎 一男・

照沼 勇一・島田嘉隆・

宮川 晃弥・菊地 茂実・

荒木 道備・萩谷 明政

▼有段者女子の部

(決勝大会進出者)

上東 萌・長山 琴音・

江畑 洋子・江畑 菜月・

中澤千枝子・横山あさみ・

川畑 映子・中野 公子・

大森 絵鈴・江橋 宏美

▼称号受有者男子の部

(決勝大会進出者)

小沼 隆史・大峰 芳樹・

瀧口 眞央・高松 清・

千葉 一茂・和栗 淳・

大岡 健司・杉山 義光・

久保田 亮・塚本 重毅・

高野 敬光・後藤 裕一・

矢野 大輔・山口 純・
福地 平

▼称号受有者女子の部

(決勝大会進出者)

柴原一利子・鈴木 裕美・

梶 直子・木村亜紀子・

吉村 静華・古山 道子・

山崎 亜紀・財津 昌子・

紫村トク子・石塚 美志・

萩野谷綾子

選手権決勝大会

R5/5/21

▼有段者男子の部

最高得点賞 宮川 晃弥

優勝 荒木 道備

準優勝 宮川 晃弥

第3位 萩谷 明政

▼有段者女子の部

最高得点賞 大森 絵鈴

優勝 長山 琴音

準優勝 中野 公子

第3位 江畑 洋子

▼称号者男子の部

最高得点賞 山口 純

優勝 大岡 健司

準優勝 大峰 芳樹

第3位 福地 平

▼称号者女子の部

最高得点賞 木村亜紀子
優勝 吉村 静華

準優勝 木村亜紀子

第3位 鈴木 裕美

▼関東選手権派遣(有段者)

萩谷 明政

宮川晃弥

荒木道備

江畑 洋子

中野 公子

(長山琴音)

▼関東選手権派遣(称号者)

吉村 静華

大峰 芳樹

大岡 健司

高野 敬光

福地 平

(木村亜紀子)

▼全日本関東予選男子派遣

(称号受有者)

山口 純

矢野 大輔

塚本 重毅

後藤 裕一

▼(高野敬光)

全日本関東予選女子派遣

(称号受有者)

木村亜紀子

吉村 静華

梶直子
大森 絵鈴

(鈴木裕美)

県民総体

R5/6/18

▼男子三段以下

優勝 高野 陽人

準優勝 岡野 斗馬

第3位 谷畑 智哉

第4位 村野 篤伸

第5位 高野真太郎

▼男子四段以上

優勝 狸塚 義弘

準優勝 畠山 智光

第3位 菊地 凜

第4位 熊谷 博明

第5位 黒沢 信和

▼女子三段以下

優勝 田中幸羽音

準優勝 高橋 秋子

第3位 横山あさみ

第4位 沼尻 彩華

第5位 三浦 彩加

▼女子四段以上

優勝 沖田 紀子

準優勝 菅原 智子

第3位 加藤真佐美

第4位 遠藤 静子

第5位 大森 絵鈴
称号受有者男子

優勝 萩原 裕一
準優勝 高松 清
第3位 塚田 哲也

▼称号受有者女子

優勝 梶 直子
準優勝 堀 史
第3位 宮下 文子

遠の大会

R5/7/2

▼男子四段以下

優勝 狸塚 義弘
準優勝 菊地 凜

第3位 大瀬良健藏

第4位 福岡 遼馬

第5位 宮川 晃弥

▼男子五段以上

優勝 野口 朋之
準優勝 安藤 勝利

第3位 久保田 亮

第4位 尾吹 将大

第5位 白井 一也

▼女子四段以下

優勝 江畑 葉月

準優勝 以下該当者なし

▼女子五段以上

優勝 斎藤 詩乃

準優勝 黒澤 智子
第3位 以下該当者なし

夏季錬成大会

R5/8/20

▼団体戦

優勝 土浦 A
栗島・中山・堀・大塚・野口
準優勝 北総 A
安田・柿沼・橋本・齋藤・栗原

第3位 土浦 B
谷畑・高野・狸塚・瀧口・菊地

第3位 霞ヶ浦 A
島田・本橋・熊田・下津・小沼

段位別大会

R5/9/3

▼二段以下の部

優勝 宮川 晃弥

準優勝 三浦 彩加

第3位 森重万佐巳

第4位 高野 陽人

第5位 有田 更紗

優秀賞 三浦 彩加

▼三段の部

優勝 荒木 道備

準優勝 長山 琴音
第3位 赤荻 治久
第4位 高橋 秋子
第5位 中野 浩史

優秀賞 加藤木 保

▼四段の部

優勝 園部 晃生
準優勝 内田 茜
第3位 栗島 則夫
第4位 堀口 芳明
第5位 狸塚 義弘

優秀賞 園部 晃生

▼五段の部

優勝 斎藤詩乃
準優勝 笹沼 健一

第3位 岩下 智明

第4位 大森 絵鈴

第5位 新山 晃一

優秀賞 齋藤 詩乃

称号受有者

優勝 久保田 亮

準優勝 萩野谷綾子

第3位 菊地 俊和

第4位 門井 寿通

第5位 梶 直子

中野杯

R5/10/28

▼男子の部

優勝 川又 悠河
準優勝 岡野 斗馬
第3位 増尾 裕次
第4位 下津 隆明
第5位 園部 晃生

女子の部
優勝 大森 絵鈴
準優勝 中村 陽子
第3位 斎藤 詩乃
第4位 横山あさみ
第5位 高橋 秋子

称号受有者
優勝 山口 純
準優勝 高野 敬光
第3位 渡邊 昌美
第4位 大崎 真一
第5位 萩野 淑江

支那対抗
R5/12/3

▼団体の部

優勝 水戸桜川 A
大貫・飯沼・大貫

準優勝 藤代 A
大森・秋山・菊地

第3位 日製(日立) A

久保田・笹沼・木元
第3位 土浦亀城 B
上東・内田・山崎

新年射会

R6/1/7

▼三段以下

男子
優勝 大杉 暉之
準優勝 荒木 道備
第3位 重藤 瞬
第4位 川上 輝人
第5位 軍司 重之

女子
優勝 鈴木 明美
準優勝 永井 美桜
第3位 橋本明翠香
第4位 菊池 弓子
第5位 鈴木 茜

四・五段

男子
優勝 笹沼 健一

準優勝 関口 信夫

第3位 熊田 大輔

第4位 川又 悠河

第5位 平根 伸彦

女子

- 優勝 小又美恵子
- 準優勝 横山あさみ
- 第3位 石井恵理子
- 第4位 沖田 紀子
- 第5位 高橋 秋子

▼称号受有者

- 男子
- 優勝 久保田 亮
- 準優勝 福嶋 勝之
- 第3位 尾吹 将大
- 第4位 大崎 真一
- 第5位 門井 寿通
- 女子
- 優勝 鈴木 裕美
- 準優勝 市毛 道子
- 第3位 柴山 純子
- 第4位 古山 道子
- 第5位 高羽 京子

◆勤労者大会

- R 6 / 2 / 25
- ▼団体戦
- 優勝 日製(日立) B
- 準優勝 重藤・森實・藤
- 県教職員C
- 上東・岡見・後藤

茨城真教職員弓道連盟県内大会結果

春季大会

- R 5 / 5 / 1
- ▼男子の部
- 優勝 後藤 裕一
- 準優勝 大垣 朋也
- 第3位 辻 尚宏
- 第4位 松崎 稔昌
- 第5位 門井 寿通
- ▼女子の部
- 優勝 佐藤 敬子
- 準優勝 八巻 千夏
- 第3位 大川都志子

▼総合の部

- 優勝 後藤 裕一

◆秋季大会

- R 5 / 11 / 27
- ▼男子の部
- 優勝 後藤 裕一
- 準優勝 荻原 裕一
- 第3位 門井 寿通
- 第4位 千葉 一茂
- 第5位 栗田 克紀
- ▼女子の部
- 優勝 八巻 千夏
- 準優勝 大金喜代子
- 第3位 篠崎 美穂

▼総合の部

- 優勝 八巻 千夏

高体連県内大会結果

春季大会兼関東大会県予選

- R 5 / 5 / 6 (女子)
- R / 5 / 7 (男子)
- ▼男子団体
- 優勝 水戸第一
- 準優勝 下妻第一 A
- 第3位 石岡第二
- 第4位 土浦第三 A
- ▼女子団体
- 優勝 清真学園 B
- 準優勝 石岡第一
- 第3位 水戸第二 A
- 第4位 清真学園 C
- ▼男子個人
- 優勝 寺門日向人(水二)
- 準優勝 工藤 拓海(土三)
- 第3位 齋藤 将太(石二)
- ▼女子個人
- 優勝 倉持 美怜(土二)
- 準優勝 五末 凜(水二)
- 第3位 磯山 真緒(清真)

高校総体予選 県民総体予選 全国総体予選 国体茨城大会

- R 5 / 6 / 8、9、12

▼男子団体

- 優勝 水戸桜ノ牧
- 準優勝 境
- 第3位 日立北
- 第4位 下妻第二
- 第5位 麻生
- 第6位 日立第一
- ▼女子団体
- 優勝 水戸第二
- 準優勝 土浦第二
- 第3位 清真学園
- 第4位 水戸第一
- 第5位 竜ヶ崎第二
- 第6位 下妻第二
- ▼男子個人
- 優勝 工藤 拓海(土三)
- 準優勝 西野 颯馬(妻二)
- 第3位 水田 聖惟(秀英)
- 第4位 亦野 涼雅(清真)
- 第5位 高橋 慧(日北)
- 第6位 宮沢 健汰(竹園)
- ▼女子個人
- 優勝 堀口 晴菜(水二)
- 準優勝 坂入 陽和(竜二)
- 第3位 見澤 麗(水二)
- 第4位 高橋 楓香(取二)

国体選手選考会

- R 5 / 5 / 16 (1次)
- R 5 / 5 / 22 (2次)
- 候補選手
- 男子 坂本 優斗(土工)
- 関 駿吾(石商)
- 工藤 拓海(土三)
- 監督 青柳 優(石商)
- 女子 塚原 梨未(水二)
- 清水 美希(桜牧)
- 高田 凜桜(清真)
- 監督 佐久間和彰(清真)

県個人選手権兼関東個人選手権県予選会

- R 5 / 8 / 18 (女子)
- R 5 / 8 / 19 (男子)
- R 5 / 8 / 22 (決勝)
- ▼男子総合
- 優勝 工藤 拓海(土三)
- 準優勝 水田 聖惟(秀英)
- 第3位 高橋 慧(日北)
- ▼女子総合
- 優勝 高田 凜桜(清真)
- 準優勝 三林 夢果(石二)
- 第3位 二平 美緒(石二)

▼男子1年

優勝 西尾 亮佑(清真)

準優勝 鈴木 陽斗(日一)

第3位 館野 樹音(古三)

第4位 坂本 翔(石二)

第5位 久米 優稀(麻生)

▼女子1年

優勝 森山 空羽(日北)

準優勝 越智 美結(日一)

第3位 岩瀬 結愛(清真)

第4位 皆川 晴奈(日一)

第5位 梅宮彩桜理(石二)

中野優勝旗大会

R5/10/9

▼男子団体

優勝 牛久栄進

準優勝 水城

第3位 石岡第一

▼女子団体

優勝 水戸第二

準優勝 石岡第一

第3位 日立第一

▼男子個人

優勝 豊田 滉人(清真)

準優勝 岩倉 佳彦(水城)

第3位 荒川 昊司(取一)

▼女子個人

優勝 塚原 梨未(水二)

準優勝 岩瀬 結愛(清真)

第3位 住谷 穂花(水二)

新人大会兼全国選抜予選

R5/11/8(女子)

R5/11/9(男子)

▼男子団体

優勝 竹園

準優勝 銚田第一A

第3位 下妻第一A

第3位 取手第一

▼女子団体

優勝 水戸第二A

準優勝 石岡第一

第3位 清真学園A

第3位 石岡商業

▼男子個人

優勝 関口 輝(境)

準優勝 高野 翔英(妻一)

第3位 二平 佑樹(水二)

▼女子個人

優勝 塚原 梨未(水二)

準優勝 三林 夢果(石二)

第3位 藤枝 愛夢(鹿島)

県高校弓道冬季大会

R6/1/27(女子)

R6/1/28(男子)

▼男子団体

優勝 取手第一

準優勝 麻生

第3位 竹園

▼女子団体

優勝 水戸第二

準優勝 境

第3位 鹿島

▼男子個人

優勝 石崎 悠真(日北)

準優勝 高野 翔英(妻一)

第3位 八木 柊悟(取一)

▼女子個人

優勝 舟木ほか(日北)

準優勝 岩井 梨藍(鹿島)

第3位 三林 夢果(石二)

中体連県内大会結果

県総合体育大会

R6/7/23

▼男子団体

優勝 阿見中

準優勝 龍ヶ崎中

第3位 清真学園中

▼女子団体

優勝 茨城中

準優勝 東海南中

第3位 太田中

▼男子個人

優勝 武石 龍丸(茨城)

準優勝 小松崎 陽(土浦三)

第3位 寺田 龍叶(阿見)

▼女子個人

優勝 小島 袖乃(清真)

準優勝 茂木 優和(阿見)

第3位 中村 天音(水戸二)

中野優勝旗大会

R5/8/1

▼男子団体

優勝 清真学園中A

準優勝 清真学園中C

第3位 阿見中A

▼女子団体

優勝 東海南中A

準優勝 水戸二中B

第3位 茨城中A

清真学園中B

▼男子個人

優勝 大崎 蓮(清真)

準優勝 奥田 聖大(阿見)

第3位 片野 龍太(清真)

▼女子個人

優勝 根来さくら(東海南)

準優勝 小島 袖乃(清真)

第3位 池田 柚希(茨城)

県新人大会

R5/10/30

▼男子団体

優勝 清真学園中

準優勝 龍ヶ崎中

第3位 朝日中

▼女子団体

優勝 清真学園中

準優勝 稲田中

第3位 千波中

▼男子個人

優勝 益子 和真(東海)

準優勝 高橋 啓介(阿見)

第3位 大崎 蓮(清真)

▼女子個人

優勝 小島 袖乃(清真)

準優勝 茂木 優和(阿見)

第3位 根本 夏希(清真)

武道フェスティバル

R5/12/2

▼男子の部

優勝 小川 由晴(朝日)

準優勝 守野 大志(清真)

第3位 宮崎 維馬(阿見)

▼女子の部

優勝 佐藤 優衣(東海南)

準優勝 紺野 麗(茨城)

第3位 宗像 莉子(茨城)

令和5年度 中央(臨時)審査会 合格者

No	段位 称号	氏 名	所 属	取得日	審 査 会 名
1	六段	橋 本 真 樹	土 浦 亀 城	R5. 5. 5	【京都】 定期中央審査会
2		石 田 昌 嗣	神 栖	R5. 5.28	【東海地区】 臨時中央審査会
3		門 井 寿 通	水 戸 桜 川	R5. 8.11	【和歌山】 特別教員臨時中央審査会
4		山 崎 亜 紀	土 浦 亀 城	R5. 9.18	【関東地区】 臨時中央審査会
5		石 川 直 人	神 栖		
6		大 岡 健 司	水 戸	R5.11. 6	【東京】 定期中央審査会
7		白 井 一 也	水 戸 桜 川		
8		吉 村 静 華	堀 原		
9	七段	辻 尚 宏	土 浦 亀 城	R5. 9.16	【関東地区】 臨時中央審査会
10	八段	米 山 良 美	下 館	R6. 3. 3	【名古屋】 定期中央審査会
11	錬士	渡 邊 昌 美	取 手	R5. 5.27	【東海地区】 臨時中央審査会
12		萩 谷 明 政	東 海	R5. 7.17	【東北地区】 錬士臨時中央審査会
13		上 馬 英 子	友 部	R5. 10. 7	【東北地区】 臨時中央審査会
14		大 金 義 昌	取 手	R5. 11. 7	【関東地区】 錬士臨時中央審査会
15		下 津 隆 明	霞 ケ 浦	R5. 12.23	【東京】 特別臨時中央審査会
16		栗 原 邦 男	北 総		
17		瀬 端 裕 子	下 館	R6. 3.16	【四国地区】 臨時中央審査会
18	教士	大 貫 富士男	水 戸 桜 川	R5. 11.13	一般推薦

令和5年度 五段審査会 合格者

No	取得	氏 名	所 属	取得日	審 査 場 所
1	五段	奈 幡 明 子	取 手	R5. 5.14	第一回東京都関東地域連合審査会
2		村 本 直 志	殿 山 弓 道	R5. 6.25	前橋関東地域連合審査会
3		平 澤 好 美	と き わ		
4		綿 引 育 子	水 戸 射 友 会	R5. 9.30	【栃木】 関東地域連合審査会
5		中 村 陽 子	美 野 里		
6		磯 前 一 己	殿 山 弓 道	R5.10.15	【茨城】 関東地域連合審査会
7		岩 田 京 子	下 館		
8		島 崎 かおる	堀 原		
9		砂 田 桂 佑	土 浦 亀 城	R5.11.12	第三回東京都関東地域連合審査会
10		内 田 茜	土 浦 亀 城		
11		菊 地 凜	土 浦	R5.12. 3	第17回 【千葉】 関東地域連合審査会
12		藤 崎 英 治	神 栖		
13		飯 田 博 之	下 館	R6. 2.25	第四回東京都関東地域連合審査会
14		菅 原 智 子	日 立 市 中 央		